

赤穂市女性交流センターだより

第19号 2020. 8

女性交流センターには 女性の方の相談窓口があります。



毎週火曜日から金曜日

午後1時から午後4時(祝日・年末年始除く)

電話 または 面接での相談

予約は必要ありません



毎月第3金曜日

午後1時から午後4時

10/16 11/20 12/18 1/15 2/19 3/19

①1時から ②2時から ③3時から (各50分)

面接相談で予約が必要です。託児も行います。

専門カウンセラーが相談に応じます。



お問い合わせ・申し込み 赤穂市役所 市民対話課 43-6818

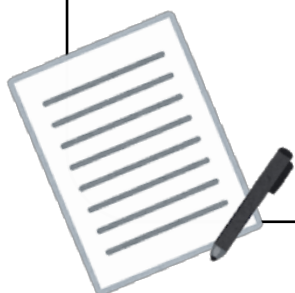
赤穂市女性交流センター 43-7800

FAX 43-6810 MAIL jinken@city.ako.lg.jp

女性交流センターをご利用ください

市民会館3階の「赤穂市女性交流センター」では、相談窓口のほかに、女性の再就職のための情報提供コーナーや予約なしで使用出来る交流サロン、貸し出しもできる情報図書コーナーを開設しています。どうぞご利用ください。利用料は無料です。

※裏面でセンター蔵書を紹介しています。

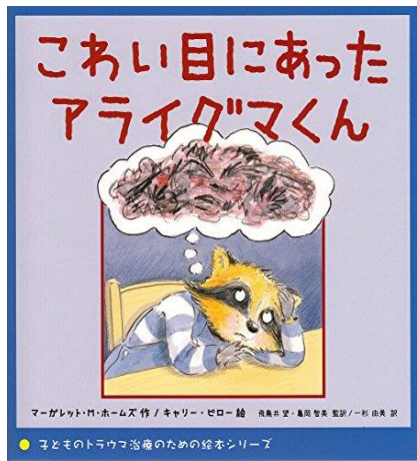


女性交流センターには、女性問題・男性問題に関する図書・行政資料をそろえ、誰にでも自由に閲覧できるような情報図書コーナーがあります。今回は女性交流センター蔵書の絵本を一冊紹介します。



こわい目にあったアライグマくん

マーガレット・M・ホームズ 誠信書房刊



マーガレット・M・ホームズさんは、子どもの励みとなる、セルフヘルプのための話を約 20 年にわたり本を書かれています。

アライグマくんは、とても怖くてつらい出来事に遭いました。しかし、いつまでも怖がっているのが嫌で考えないようにしようと思いました…… この本は、とても怖くてつらい出来事を体験した子どもの心身に現れる早期のストレス反応をととても上手に分かり易く伝えている本で、子どもたちとその家族、支援者に役立つトラウマ治療のための子どもの絵本シリーズの一冊です。子どもにとって恐ろしい出来事は様々なことがあげられ、それを子ども

自身で克服していくことは難しいと思います。普段の生活の中で悩みがあると大人であってもアライグマくんと似た言動が(全てではないですが)あると思いました。子ども用絵本としてだけでなく、大人の方も心が軽くなったアライグマくんの過程を読んでみて下さい。

すとれす

先日、テレビを見ていると、新型コロナ自粛の間のDV・虐待・性被害等が増えている件について報道されていました。悲しいニュースですが、歴史をみても、戦後間もない頃や大きな自然災害が起こった後など、混乱した状況下では生活不安やストレスにより同じような被害が繰り返されるようです。未だ新型コロナ感染の終息はみえていませんが、不安なこの時期だからこそ、夫婦が助け合い、相手を思いやる気持ちを大切にすべきなのかもしれません。



◆ちいさな防災のアイデア◆

バッテリーはスマホの数だけ

色々なバッテリーを試しましたが、いちばん使えるのはやはり電池式。災害時、電話がつかない中で SNS やネットで安否確認が取れたり、閉じ込められた人が救われたりすることも。車やベビーカーにもぜひ備えて下さい。車にはシガーソケット充電器！（被災ママに学ぶ ちいさな防災のアイデア 40 より引用）シガーソケット充電器は普段から利用でき便利なのでオススメです。



発行/赤穂市市民部市民対話課(☎43-6818 📠43-6810)・女性交流センター(☎43-7800)